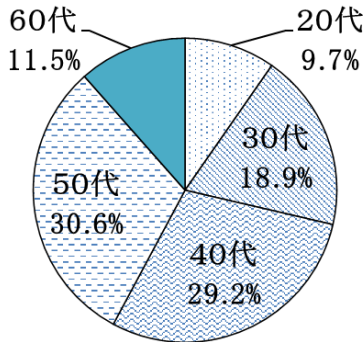


令和6年度 夏季講習会アンケート集計結果（回収数 665 名）

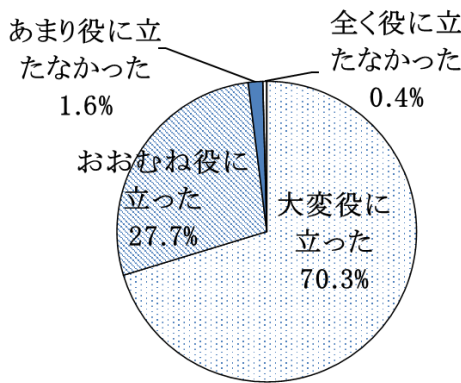
付属工業教育研究所

(1) あなたの年齢に関して、その年代を教えてください。



- ・令和4年度から Web 入力によるアンケート調査にした結果、令和5年度の回答率は53.8%と芳しい数字ではなかったが、令和6年度は66.6%とやや上昇した。開催団体には、終了時等で二次元コードによるアンケート協力をお願いしているが、未実施の団体もあり、来年度も粘り強く協力を要請する。
- ・参加者の年齢層は40歳代と50歳代が3分の1ずつであり、再任用教員の60歳代が増加傾向にある。

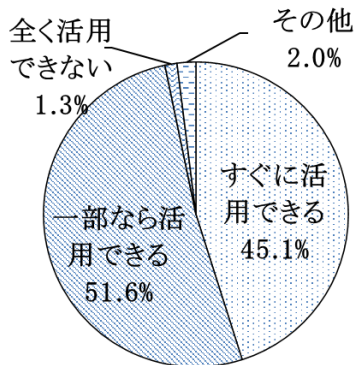
(2) 講習会の講義及び実習内容について、あなたはどのように感じましたか。



役に立たなかった理由、その他

- ・実技がほとんどなかったため。
- ・合格するための講習対策を期待していました。
- ・日本語対応されていないシエラーが多い。
- ・3Dモデリングをもっとやってほしかった。
- ・講義タイトルと、こちらが知りたい内容がかみ合っていないと感じた。
- ・製品紹介や使い方がメインで、自分の技能向上にはあまり繋がらなかった。

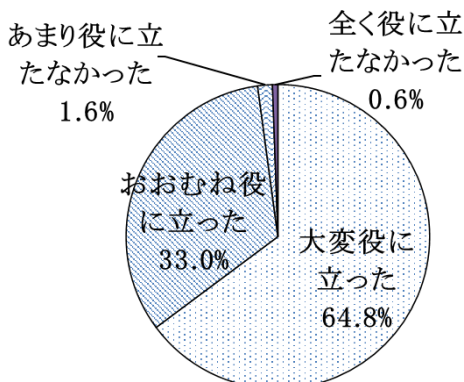
(3) 講習会の内容が現場の授業に活用できますか。



全く活用できない、その他の理由

- ・内容が難しすぎるので授業には不向きだと思う。
- ・実機が導入されていない。
- ・基本的に日本対応していないし、操作方法が十分理解できなかった。
- ・導入コストがかかりすぎる。
- ・技能検定3級の導入の仕方などの話があまりなかった。

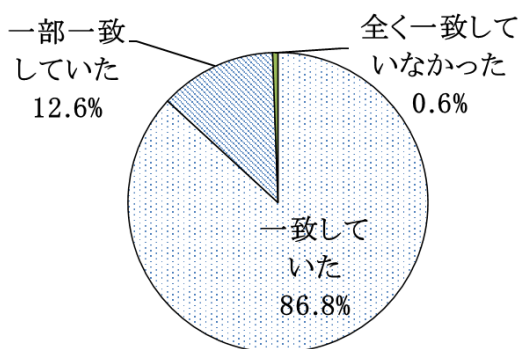
(4) 講義用教材について、あなたはどのように感じましたか。



あまり、全く役に立たなかった理由、その他

- ・あまり使用しなかった。
- ・PC画面に入力する内容の紙ファイルを先に渡してもらえれば、メモすることにエネルギーをかけずに、作業体験に専念できた。
- ・資料の内容と実際の説明が違っていたり、資料にない内容を説明している。
- ・講習内容のほとんどが見学であり、教材がない。
- ・パワポデータの印刷で教材ではないと感じたため。

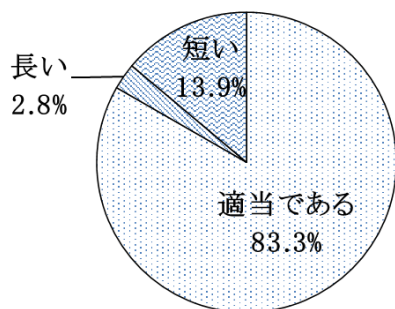
(5) 講義の内容とテーマが一致していましたか。



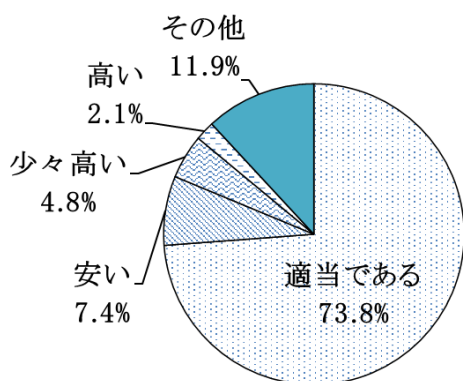
全く一致していなかった理由、その他

- ・「初心者にもわかりやすい」講習ではなかった。それを言うならもう一工夫が必要。
- ・入門コースとうたっておきながら、「こんなこと位できますよね」を前提に作業を進められた。
- ・対策や、受検に向けての具体的な事例がなかったため、実際に学校現場で導入できるような内容ではなかった。

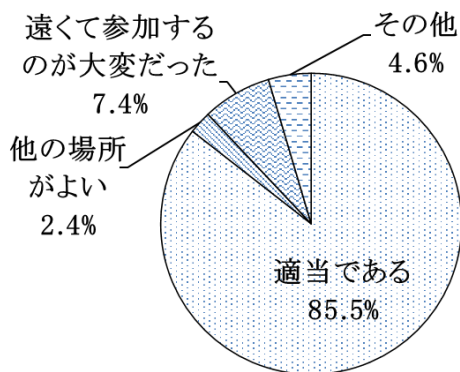
(6) 講習会の期間についてお尋ねします。



(7) 資料代のある講習会は金額と講習内容についてどうですか。



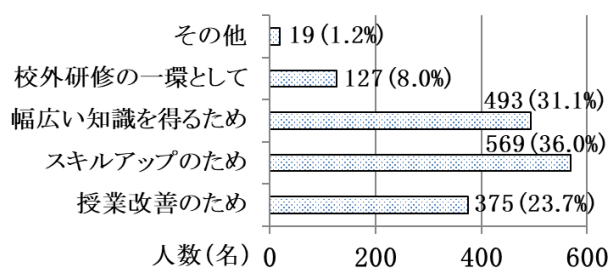
(8) 参加した講習会場の位置についてお答えください。



その他の理由

- ・希望する各都道府県に講師を招聘する方法が可能であればありがたいです。
- ・駅から送迎していただき助かりました。
- ・複数の地区で開催してほしい。
- ・オンラインのため、旅費が必要でないため、大変よかったです。

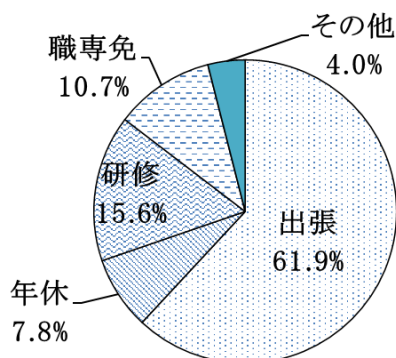
(9) 講習会を受講された動機をお聞かせください。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・課題研究、部活動指導のため。
- ・生徒の進路指導に役立てるため。
- ・既存の設備の有効利用のため。
- ・授業をするため勉強がしたかった。
- ・会場が学校開催のため、他校の製図についても知る機会になればと考えました。

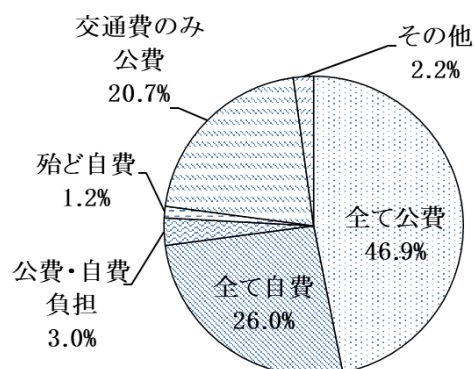
(10) 講習会参加の勤務の取り扱いについて。



その他の理由

- ・オンライン講習会のため通常勤務。
- ・勤務校での実施。
- ・職専免研修。
- ・休暇

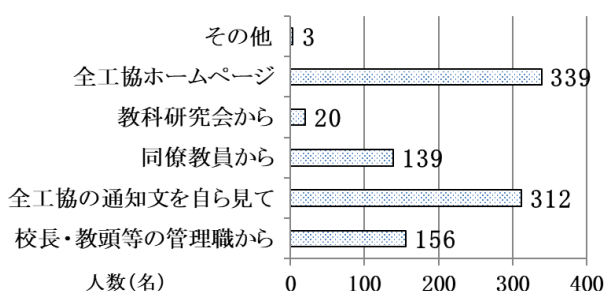
(11) 講習会の費用はどうされましたか。



その他の理由

- ・オンラインのため負担なし。
- ・開催場所が勤務地だったため、費用が発生せず。
- ・交通費、宿泊費支給(資料代除く)。
- ・ほとんど公費。
- ・交通費・宿泊費一部公費。
- ・交通費は自費。
- ・上限2または7万円までは公費。オーバー分は自己負担。

(12) 講習会を受講するに当たり、どこから情報を得ましたか。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・開催団体から。

(13) 意見

①どんな講習会を希望するか

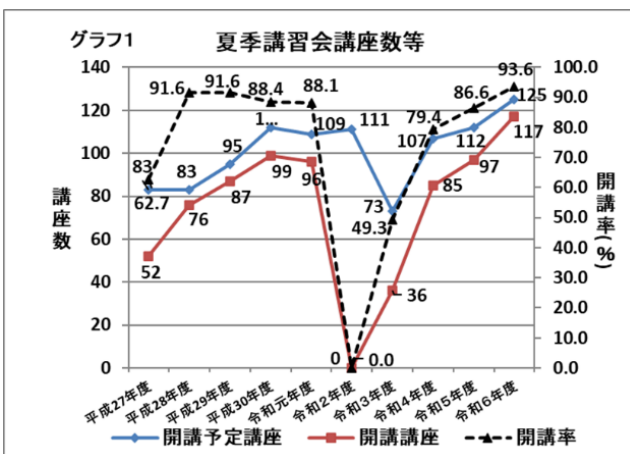
- ・建設関係の講習会が少ない(特に土木関係の講習会を希望)
- ・実技を多く含んだ3Dプリンター講習
- ・BIM応用講座
- ・SOLIDWORKS 上級講習
- ・マシニングセンターやレーザー加工機等の実技研修
- ・技能検定3級(熱処理、鋳造、マシニングセンター)
- ・課題研究に役立つモノづくりラズベリーパイ

- ・安全管理（様々な分野における実習室環境の改善に役立てたい）
- ・中級者向けネットワーク講習
- ・AI を活用した教材作成について
- ・AI 技術、ロボット技術
- ・生成 AI や画像処理（OpenCV）などの講習
- ・IOT 関連
- ・Arduino を活用した電子工作
- ・2 級建築士学科試験対策講座
- ・AutoCAD（JW CAD）の初期設定から機械製図の初級・中級レベルの内容
- ・CAD/CAM から、工作機械の操作、加工まで一貫した内容で実施
- ・対面による 3Dcad 講習会
- ・授業でも活用できる WEB ツール（CAD、シミュレータ）講習会
- ・ドローンの操縦や資格取得について
- ・最先端機器を用いた化学実験
- ・化学業界の製造・生産現場を学ぶ
- ・マイコン関連
- ・マイコンカーの研修会
- ・無線通信
- ・次はレベルアップした同じ講習会
- ・制度改正後の施工管理について
- ・自動車のオートパイロット 1.0&2.0 の体験
- ・SDGs の取り組みなど
- ・Adobe 系アプリ（Illustrator, Photoshop 等）講習
- ・一度では習得が難しく次年度も受講希望
- ・CSWA 取得者対象の CSWP 受験に向けた講習会
- ・デザイン系の講習会
- ・公的な資格が取得できる講習会
- ・DX 教材について
- ・ロボット競技に使えるような機構の設計方法や製作手順等（工業高校の設備で製作可能なもの）

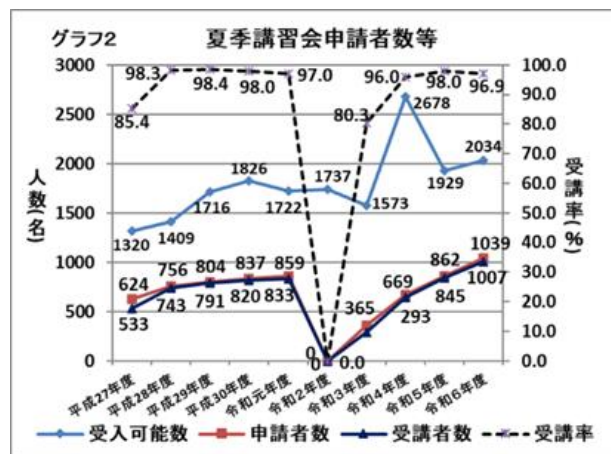
(14) 夏季講習会の開講率と受講率

夏季講習会は、コロナ禍を経て、令和4年度からは「移動制限のない対面による講習会」と「オンライン講習会」の通常開催となっている。オンライン講習会の実施講座は、15 講座である。ほとんどの講習会の開催要項には [オンライン講習に必要な PC 環境] の定型文が記載されているが、実際は、開催会場の施設・設備による体験・見学や参加者同士の情報交換などのため、対面による講習会が多い。

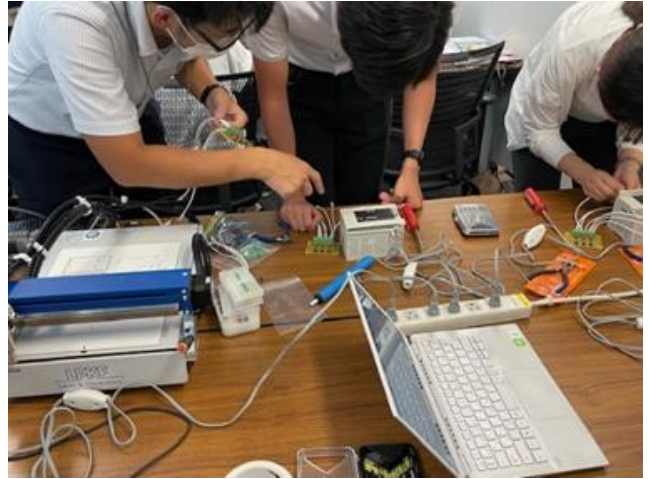
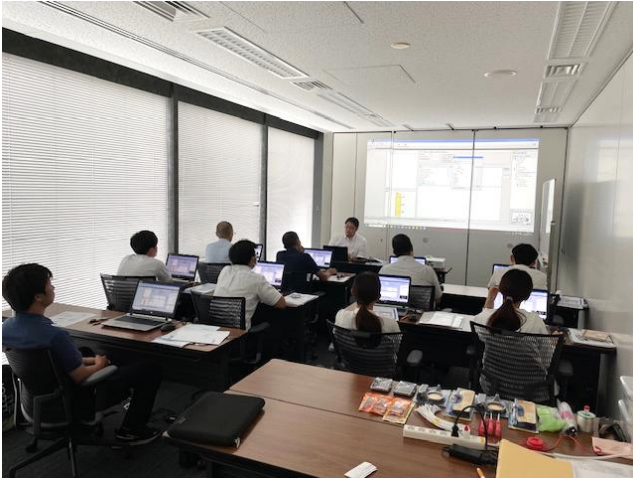
下図のグラフ 1・2 は、「夏季講習会の講座数・申請者数等」の過去 10 年間の推移である。講座数・受講者数はコロナ禍で著しく減少したが、コロナ禍後の令和4年度以降は回復し、右肩上がり増加している。希望定員に満たない講座も開催団体のご厚意で開講していただいた結果、今年度の開講予定講座数は 125 講座、受入可能受講者数は 2,034 名と昨年度を大幅に上回った。最終的には開講講座は 117 講座となり 1,007 名が受講した。開講率は 93.6% 受講率は 96.9%であった。



$$\text{開講率} = \frac{\text{開講講座}}{\text{開講予定講座}} \times 100$$



$$\text{受講率} = \frac{\text{受講者数}}{\text{申請者数}} \times 100$$



夏季講習会風景①(No. 20 初めてのプリント基板作成)



夏季講習会風景②(No. 120)UV プリンターによるオリジナル加飾体験)

次年度も夏季講習会をよろしくお願ひします。